鈴鹿市立大木中学校

令和５年度　学校経営改革方針

学校教育目標：「生きる力」を身につけ，未来を切り拓く生徒の育成

めざす学校像　　生徒と教職員の笑顔が通う学校

～すべての生徒が安心して学べる学校～

めざす生徒像
- 自ら学び，仲間と高めあう生徒
- あいさつができる生徒
- つながりを大切にする生徒
- 命を大切にする生徒
- 地域を愛する生徒

めざす教職員像
- 授業改善と指導力向上に努める教職員
- 「想い」を聴ける教職員
- つながりを大切にする教職員
- 共に学び続ける教職員

学校経営方針の実現に向けた具体的な方策

１ 確かな学力の育成

◆言語能力の育成に向けた授業改善，授業づくりの推進
- 全国テストやみえスタからの課題や授業力UP５を基本とした授業改善
- 研修会，公開授業，ミニ研修会による資質・能力の向上

◆基礎学力の定着（家庭学習・学習支援・読書活動の充実）
- 端末持ち帰りを活かした家庭学習の質の向上についての教科部会開催。

◆ＩＣＴを活用した授業改善（一人一台端末による学習の質の向上）
- 一人一台端末を活かした授業づくりについての教科部会開催

２ 豊かな心の育成

◆教育的に不利な環境のもとにある子どもを中心とした仲間づくり

３ 健康な身体と体力の育成

◆保健・健康教育の推進　◆食育の充実　◆基礎体力の向上

４ 自律し未来を切り拓く力の育成

◆長期欠席生徒の未然防止と社会的自立支援の推進
- 早期発見と早期対応　・生徒の状況に応じた個別支援と組織的対応
- SC や SSW など専門家や関係機関との連携　・校内適応教室を生かした居場所づくり

◆特別支援教育の充実　◆キャリア教育の推進　◆生徒会活動の充実

５ 安全で安心な学校づくり

◆いじめを許さない学校づくり　◆交通安全教育の推進　◆防災教育・訓練の推進

◆施設・設備点検の徹底　◆安全に配慮した移転活動の徹底

６ 開かれた学校づくり

◆部活動の在り方や新校舎図書館の活用など重要課題の協議推進

・学校運営協議会での部活動の適正数の協議推進
・地域が主体の学校図書館の運営

◆地域づくり協議会との連携推進
・部活動の地域移行に向けた地域づくり協議会等とのの連携

◆校区小学校との協働（学力，ICT,長期欠席，地域連携）
・家庭と連携した家庭学習や読書の強化週間の実施と啓発

7 働きやすい環境づくり

◆総勤務時間の縮減 （定時退校日の推進　部活動の調整）　◆部活動指導員の活用

◆新校舎の機能を生かした職場環境の整備